

◆テーマ：カフェツーリズム

◆方法：名桜大学国際学群観光産業専攻大谷ゼミ 3年次 15名が3グループ程度に分かれて沖縄県のカフェを取材し、紹介記事を作成する

◆取材コンセプト（グループ統一）

- ・国内外の観光において、カフェは飲食機能提供の役割に加えて、景観や食文化などの観光資源、立地や雰囲気などの要素が加わり観光目的地になる可能性を有している。すでに、カフェを巡る観光や観光地での立寄りスポットとしてカフェ観光における位置づけが認識されている。
- ・ガイドブック、旅行誌、個人のSNS、メディアでの特集など既存の情報が存在する中、学生らしい楽しみ方、既存にない視点での魅力、名桜生ならではの視点などをコンセプトとして記事を作成する。
- ・差別化のもとになる既存の情報は、カフェの公式ウェブページ、インスタ、ブログ、ツイッター、カフェ関連の書籍などを参考にする。
- ・沖縄県における新たな観光の魅力、周辺観光地からの誘導、リピータなどの立ち寄りスポットを増やすことなどを念頭におき、地域と観光、観光と地域の連携、そして観光における情報発信の意味を理解しながら記事を作成することとする。

◆取材テーマ（3分類で3テーマずつ）：スイーツ・プレート・ドリンク、和・洋・琉、女子・家族・観光客、北・中・南、朝・昼・夕、海・山・まち、古民家・外国人住宅・施設内などとする。

まず、海、朝、外国人住宅をテーマとして取材を開始する。

◆取材の方法

- ・学生がカフェを利用者として訪れ、取材する場合は依頼文をもとにカフェの責任者に取材を申し込む。責任者やオーナーに許可をとり、可能な場合はインタビューなどを行い、原案か掲載前に記事を確認してもらうことを基本とする。

◆記事掲載の方法の検討

- ・名桜大学国際学群観光産業専攻大谷ゼミ 3年次によるカフェツーリズム紹介のトップページや補注などに、上記のコンセプトや下記の定義などを掲載してもらうことを検討する。また、調査と取材のもとになったカフェツーリズムの定義は以下の通りである。

『カフェツーリズムとは、「カフェ」での食事、出会い、「カフェ」の雰囲気、ロケーションなどに重きを置き、その場でしか味わうことのできない景色や空間を体験することを目指すとした観光行動または、「カフェ」を活用した観光事業のことである。』

大谷研究室・長嶺舞（2015）